

私たちは、未来を見つめ、札幌大同印刷の強みを活かし 独自に環境への取り組みを推進します

トップコメント

この度は、東日本大震災により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。今なお生活が脅かされている被災地の日も早い復旧をお祈り申し上げます。

また、お客さまには用紙やインキなど資材の調達、物流の停滞など御座いますが、出来る限りご迷惑をお掛けしないよう取り組んで参ります。

さて、札幌大同印刷は、2003年に環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001を認証取得し、様々な環境保全に取り組んできた結果、省エネや省資源など環境負荷低減に一定の成果を上げるとともに従業員の意識向上やシステムの定着などから、事業活動を通して環境への取り組みに貢献できるという認識のもと、ISO14001を返上し、独自に環境への取り組みを推進することと致しました。

今後、更なる環境への取り組みを実践するために、培ってきた技術やノウハウを活かし、印刷文化を通して社会の発展に貢献できるよう取り組んで参ります。今後とも皆さまからの変わらぬご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。

札幌大同印刷株式会社
代表取締役社長

本間 翼

経営理念

札幌大同印刷は、基本的な考え方や活動の方向性を示している経営理念を実践することこそが、社会的責任を果たすことと考えます。

私たちは
表現・言論・出版の自由を守り
印刷文化を通して
健全な社会の発展に貢献する

私たちは
お客様の志向を十分に認識し喜ばれ
信頼される企業を創造する

私たちは
職業人としての誇りと自覚をもって
自己の能力を研鑽し発揮するよう
努力する

私たちは
互いの人間性を尊重し
幸福の実現を目指す

制定1991年1月1日

環境方針

■ 理念

私たちは健全で美しい地球環境の保全を最重要課題のひとつととらえ、印刷及び印刷関連事業、マルチメディア事業の推進と地球環境保全との調和に努め、地球に優しい事業活動を継続して実践し、豊かな自然環境を将来世代へ引き継ぎ、北海道の企業として快適な地域社会の実現に貢献します。

■ 基本方針

1. 事業活動全般によって生じる環境への影響を認識し、環境目的・目標を定め、環境汚染の予防を含め、環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
2. 事業活動全般にかかわる環境関連の法律、規制、協定等を順守するとともに、自主基準を定めて管理し、環境リスクを回避します。
3. 環境保全のため、次の項目を環境管理における重点テーマとして取り組みます。
 - 1) 省資源・省エネルギーの推進
 - 2) 車両による排出ガスの管理と削減
 - 3) 製造過程で使用する有機溶剤などの管理と削減
 - 4) 廃棄物の管理と削減、リサイクル化
 - 5) 製品事故の削減
 - 6) 環境に配慮した資材、企画の提案とお客様サポート
 - 7) 環境情報の公開
 - 8) 地域社会への貢献
4. 環境方針を達成するため環境目的・目標を設定し、全事業所・全従業員をあげて環境管理を推進します。
5. 環境方針は札幌大同印刷で働く、または組織のために働くすべての人に周知し、環境保全の意識向上に努めます。また、利害関係者への周知により環境マネジメントシステムの理解と協力を要請すると共に一般の人にも開示し、入手可能とします。

制定 2003年3月1日
改訂 2009年3月1日

会社概要

- 商号 札幌大同印刷株式会社
- 創業 1954年8月10日 (昭和29年)
- 代表取締役社長 本間 翼 (ほんまたすく)
- 所在地
[本社 / 制作室・製造部]
〒004-0003
札幌市厚別区厚別東3条2丁目1番1号
電話 011-897-9711 (代表)
[豊平営業所 / 営業本部・企画室]
〒062-0905
札幌市豊平区豊平5条5丁目2番25号
電話 011-823-6115 (代表)
- 資本金 56,950,000円
- 従業員数 90名 (2011年5月現在)
- 事業概要
[商業印刷]
パンフレット / リーフレット / カタログ / チラシ / ポスター / メニュー / 会社案内 / 社内報 / 報告書 / 雑誌 / カレンダー 等
[デジタル関連]
Webデザイン / システム開発 / データベース構築 / プログラミング 等
[その他]
PR企画立案 / マーケティング / ノベルティ / グッズ / DVD制作 / 屋内外広告看板 / イベント事業の企画運営 等

報告書概要

- 環境報告書発行の目的
「環境報告書2010」は、札幌大同印刷の環境への取り組みと実績、社会貢献活動などの一部を、札幌大同印刷を支えて頂く多くの皆さまに情報の開示を図るとともに、従業員の環境教育資料として用い、環境保全への意識の向上と情報の共有化に努めることを目的としています。
- 対象期間
2010年1月1日～12月31日
2010年度の活動を中心としましたが、一部の項目については過去及び現在継続中の物も含まれております。
- 対象組織
札幌大同印刷株式会社 全事業所
- 対象範囲
札幌大同印刷株式会社における環境保全活動や実績を中心に掲載しています。
- 本報告書の仕様
インキは一部植物油を含む環境に優しい植物油インキ、用紙は事業活動によって余った紙を使用(リデュース=廃棄物の発生抑制)しています。

環境目的・目標と環境マネジメントシステム概要

事業活動によって生み出されるさまざまな環境データを基に環境への目的・目標を定め、PDCAサイクルを継続的にを行い、環境保全の継続的改善に取り組んでいます。

環境中期計画の環境目的・目標及び実績評価

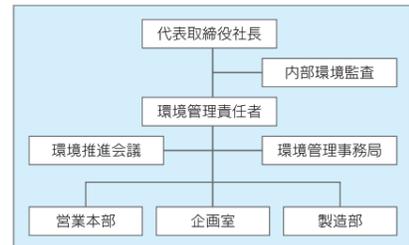
※自己評価 ○目標に対し実績達成 △目標に対し実績 未達成

環境中期計画・環境目的	2010年度環境目標	2010年度環境実績	評価
1) 省資源・省エネルギーの推進			
電力使用量の削減	日常管理の徹底・クールビズの継続	日常管理の徹底・クールビズ継続を実施/前年度比4.89%削減	○
コピー用紙の削減	日常管理の徹底	日常管理の徹底を実施/前年度比2.01%削減	○
印刷予備紙の削減	13.0%維持	13.23%/前年度比0.18%増加	△
2) 車両排出ガスの削減			
エコドライブの推進	エコドライブの徹底・低公害車の導入	エコドライブの徹底・低公害車の導入を実施	○
3) 有機溶剤等の削減			
揮発性有機化合物(VOC)の削減	環境対応品調査、検証、代替品への移行	環境対応品調査、検証を実施/代替品の該当無し	△
4) 循環型社会形成の推進			
廃棄物の削減	日常管理の徹底・リサイクル化の推進	日常管理の徹底・リサイクル化の推進を実施/前年度比0.36%削減	○
5) 製品事故の削減			
製品事故の削減 ※チャレンジゼロ	日常管理の徹底	日常管理の徹底を実施/前年度比13件増加	△
6) 環境パートナーシップの推進			
大同特色インキの提案	受注提案率35.0%維持	受注提案率37.5%/前年度比1.4%増加	○
環境にやさしい紙の提案	提案の継続	提案の継続を実施	○
環境配慮型製品の提案	提案の継続	提案の継続を実施	○
7・8) 環境コミュニケーションの推進			
環境情報の公開	環境報告書発行・HPによる情報公開	環境報告書2009発行・HPによる情報公開を実施	○
地域社会貢献活動の推進	市民活動等への参加、協力	キャンドルナイト・アースデイなどに参加、協力	○

環境保全推進体制

札幌大同印刷は、効果的な環境マネジメントの運営を推進するためにPDCAサイクルを継続的にを行い、代表取締役社長及び環境管理責任者のもと、役割と権限を明確にし、環境管理事務局・各事業所の環境保全担当者との連携を図り、環境活動を円滑に行っています。

■ 環境マネジメントシステム概要



■ PDCAサイクル
Plan(計画)・Do(実施・運用)・Check(点検・評価)・Action(見直し)という4つの観点から、スパイラルに継続的改善を図るマネジメントシステム管理の手法。

環境教育

地球環境問題の基礎知識や環境保全の継続的な改善を図るための環境教育を新入社員を始めとした全従業員を対象に実施しています。また、部門独自の取り組みと日常の環境保全活動の維持向上を目的とする部門教育や環境マネジメントの専門的な知識などの習得を目的としたスタッフ・内部環境監査員の専門教育などを随時実施しています。

2010年7月には全社環境教育を実施し、全従業員が受講しました。



法令等の順守

札幌大同印刷の事業活動、製品及びサービスにおいて、環境側面に適応される環境関連法規制や地域の条例・協定などを遵守することはもとより、要求される規制の基準に対してより厳しい自主基準を設け、環境汚染の未然防止に努めています。2010年度において、環境関連法規制等に関する違反や指摘、指導などはありませんでした。

■ 関連する主な環境法規制

水質汚濁防止法 / 下水道法 / 労働安全衛生法 / PRTR法 / グリーン購入法 / 大気汚染防止法 / フロン回収破壊法 / 消防法 / 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 / 札幌市生活環境に関する条例 / 北海道公害防止条例 / 札幌市廃棄物の減量及び処理に関する条例 など

事業活動による環境負荷データ

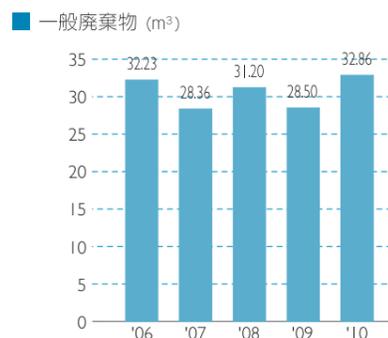
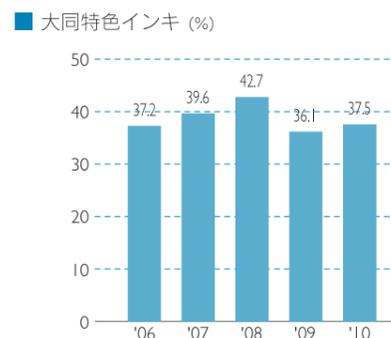
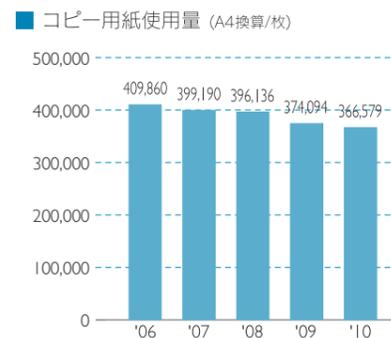
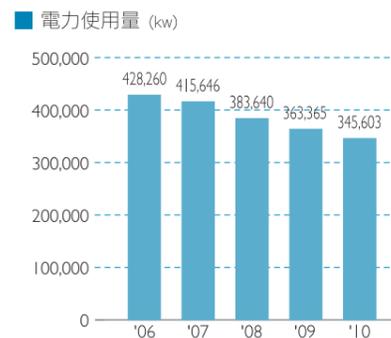
目的・目標の達成状況を確認するため、環境活動データの集計・把握しています。

環境データ

INPUT (投入)	
エネルギー	
電気	345,603 kw
ガス	214.1 m ³
灯油	6,531 L
ガソリン	25,900 L
資材・原材料	
印刷用紙	再生紙等 63.4 t 一般用紙 483.1 t 546.5 t
印刷インキ	SOYインキ 6,799 kg 一般インキ 7,202 kg 14,001 kg
コピー用紙 (A4換算)	366,579 枚
PS版	9,801 kg
スプレーパウダー	210 kg
製本針金	170 kg
化学物質	
製版現像液	230 L
印刷溶剤	7,167 L
トルエン	420 kg

SAPPORO DAIDO (事業内容)	
営業本部 物品やサービス、情報、人などを結びつけます。	
企画室・制作室	
企画 お客様に合わせたコンセプトをまとめ、企画立案します。	
デザイン・編集 コンセプトに沿ったビジュアルや文章などを駆使し、表現します。	
製版 テキストや画像データなどを適切な印刷用のデータに変換します。	
刷版 校了となった印刷用に変換されたデータを、印刷用の原版にします。	
Web ホームページやプログラムの企画制作をします。	
製造部	
印刷 印刷原版を印刷機に設置し、お客様の要求を印刷で再現します。	
製本・加工 刷り上がった印刷物を、断裁、折り、製本など、最終的な製品に仕上げます。	
梱包・納品 完成した製品を、お客様の指定する形に梱包し、期日までに指定の場所にお届けします。	

OUTPUT (排出)	
二酸化炭素 (CO₂換算)	
電気	123,380 kg
ガス	471 kg
灯油	16,393 kg
ガソリン	59,829 kg
合計	200,073 kg
廃棄物	
再生資源 (有価物)	
古紙	172,570 kg
アルミ版	10,825 kg
再生資源 (産業廃棄物)	
金属くず	1,650 kg
廃アルカリ	5,045 kg
焼却・埋立 (産業廃棄物)	
廃プラスチック	653 kg
紙くず (再生不可)	6,300 kg
廃油 (インキ類)	3,119 kg
廃油 (洗浄油)	1,406 kg
合計	201,568 kg
一般廃棄物	32.86 m ³



環境保全活動概要

環境目的・目標を達成するために事業活動の様々な場面において施策に取り組み、環境保全活動の維持・改善・向上に努めています。

電力使用量の削減

CTP導入により印刷工程のデジタル化を推進。フィルムを使用せずコンピューターからオフセット印刷用のPS版に直接データを出力し、制作・刷版・印刷までの工程の作業時間を大幅に短縮しています。また、オフィス活動においては、クールビズの実施や照明未使用箇所の部分消灯、冷暖房の温度設定管理、離席時のパソコンモニター電源OFFなどに取り組んだ結果、前年比で4.89%削減することが出来ました。

■ CTP (Computer To Plateの略語)
パソコンで作成したデータを、中間工程である製版フィルムに出力せず、直接刷版にて印刷機で使用するPS版に焼き付ける方法。

コピー用紙の削減

札幌大同印刷は、両面出力や裏面の再利用、PDF校正によるメールの活用、営業日報のデジタル化などの取り組みを継続的に行っています。また、製本工程時に発生する印刷用紙の断裁紙片を有効的に利用するなどに取り組んだ結果、前年比で2.01%削減することが出来ました。

印刷予備紙の削減

札幌大同印刷は、事業活動により大量な紙を使用していることから、印刷位置やインキ濃度を合わせるなど、印刷時の試し刷りに使用される印刷予備紙の削減に努めています。CTPによるデジタル化の推進、損紙の再利用、喚起ポスターの掲示によるオペレーターの意識啓発などに取り組みましたが、前年比に対し0.18%増加。また、13.00%の目標に対して0.23%目標を上回ってしまいました。原因として、通し枚数の少ない印刷物が多い傾向にあり、印刷予備紙が増加していると考えられます。

■ PS版 (Presensitized Plateの略語)
紫外線により感光する感光層をアルミ板に塗布したもので、オフセット印刷の版材として使用される。

■ 損紙
印刷や製本作業中に様々な要因から、製品として使用できなくなった用紙のことで、別名ヤレともいう。



エコドライブの推進

アイドリングストップや法定速度遵守の徹底などに取り組みとともに、燃費の向上と排出ガスに含まれる窒素酸化物や二酸化炭素などの排出量が従来の自動車に比べて少ない低排出ガス基準レベル認定自動車を導入の際に積極的に選択しています。

■ 低排出ガス基準レベル認定自動車
NOx(窒素酸化物)やPM(粒子状物質)など排出ガス低減に向け、国が定めた自動車の排出ガス基準に対応した低排出ガス車制度の認定を受けた自動車。

揮発性有機化合物(VOC)の削減

オフセット印刷機に付属するブランケット胴の洗浄用溶剤に含まれるトルエンは、揮発性有機化合物(VOC)として札幌市の条例に該当し規制対象となることから、使用量の把握など手順に基づいた日常管理の徹底に努めるとともに、環境対応品への転換を図るために代替品の検証に取り組みましたが、2010年度の調査・検証では代替品となる環境対応品はありませんでした。また、従業員の安全と健康を守るために使用の制限など環境負荷の低減を図り、使用する作業に従事する従業員に対し、労働安全衛生法有機溶剤中毒予防規則に則り、有機溶剤等の健康診断を年2回実施しています。

■ 揮発性有機化合物 (VOC=Volatile Organic Compoundsの略語)
印刷機械の洗浄剤に含まれるトルエンなどの物質で、大気中の光化学反応により光化学スモッグを引き起こす原因物質の一つとされています。

■ ブランケット胴
オフセット印刷機の胴のうち、印刷圧を生むゴムブランケットを巻いた中間胴の事。版胴上の画像は一度このブランケット胴に転移され、さらに紙に再転移されます。

廃棄物の削減

廃棄物の適正処分のため、排出から処分まで自主基準期日を設定し、処分終了までの監視をマニフェスト管理票にて管理しています。また、処理委託業者の許可証有効期限も定期的に確認しています。産業廃棄物は、印刷工程で全事業所の排出量約95%を占めますが、従来の化学薬品を多く使用する簡易校正機の使用を停止するなど、前年比で総排出量0.36%削減することが出来ました。

■ マニフェスト管理票
産業廃棄物の収集・運搬、中間処理、最終処分などを委託する場合、排出者が委託者に対して適正な処理が行われたことを確認する管理票のこと。

製品事故の削減

印刷による製品事故は他の製造業と比較すると約20倍の発生率と言われており、環境に配慮した紙やインキを使用したとしても事故が発生すると取り組み自体が無意味なものとなってしまいます。印刷の代表的な製品事故として誤字・脱字・色間違い・汚れ・色ムラなどが挙げられますが、製品事故の発生を未然に防ぐために作業チェックリストを作成するなど製品事故の予防対策を継続的に行いましたが、前年比で13件増加しました。原因として企画室の移転に伴ったミスなどが上げられますが、製品事故が発生した際には、事故原因の追及と対策を講じ、全従業員に製品事故の情報を共有し、改善及び再発防止に努めます。

大同特色インキの提案

札幌大同印刷は、無駄になるインキを極力減らすため、使用頻度の高い特色インキを選定した見本帳を用意し、1色または2色の場合には、お客さまに出来るだけ見本帳の中からお選び頂く提案を行った結果、受注提案率が前年度比で5.92%増加しました。大同特色インキの提案が環境負荷低減に繋がる取り組みと考え、微力ではありますが、今後も引き続き提案を行って参ります。



環境にやさしい紙の提案

ライフサイクルアセスメント(LCA)の観点から、紙資源のリサイクルを推進することで、二酸化炭素の削減や廃棄物の増加などを抑制する再生紙。紙の原材料としてだけでなく、森林の生態系を守るために管理された森林から産出された森林認証紙や森林の健全な生育を促すために密集した木の一部を伐採した間伐材を配合した間伐材紙など、環境に配慮した紙の提案をお客さまに行っています。

■ ライフサイクルアセスメント (LCA=Life Cycle Assessment)
その製品に関する資源の採取から製造、輸送、使用、廃棄などすべての段階を通して環境影響を定量的、客観的に評価する手法。

環境コミュニケーション

社会の一市民として地域社会に根ざした活動を応援するとともに、地域社会とのコミュニケーションを大切にしています。

アースデイ EZO 2010

主催：アースデイEZO実行委員会

北海道で地球・自然・人間・文化など、幅広いテーマで活動するNPO・NGO・市民団体・個人などがヒトツにつながって、北海道で大きな力を生み出したいというアースデイEZO実行委員会の呼びかけに賛同し、「アースデイ EZO 2010～地球のことを考えて行動する日」に参加・協賛をしました。

実行委員会の運営やオフィシャル会場の一つ大通公園2丁目会場にてボランティアスタッフとして従業員が会場の案内、移動食器洗浄車「アラエール号」で会場内の食器の貸し出しや洗浄などの活動をしました。



■ アースデイ=地球のことを考えて行動する日
1970年、アメリカウイスコンシン州のネルソン上院議員が、4月22日をアースデイ・地球の日であると宣言して始まる。このアースデイを通じて環境の抱える問題など、たくさんの人々に関心を持ってもらおうと呼びかけられ、現在世界各地で開催されている地球最大のフェスティバル。

環境広場さっぽろ2010

主催：環境広場さっぽろ実行委員会

未来の地球とエネルギーを考える環境総合イベント「環境広場さっぽろ」にて、札幌市「さっぽろエコメンバー」登録事業者の自主的な環境保全活動を紹介するブースに参加。札幌大同印刷の主な環境保全活動をまとめたパネルの展示や環境報告書を配布しました。



ラブアース・クリーンアップ in 北海道 2010

主催：NPO法人北海道市民環境ネットワーク

地球の未来を考え、自然やかかけがえない地球を愛するために、まず身近な地域を愛することから始めようと考え、誰でも参加できるごみ拾いから行動して行こうという北海道市民ネットワークによる「ラブアース・クリーンアップ in 北海道 2010」の呼びかけに賛同し、6月の環境月間に合わせて事業所周辺のごみ拾いを実施しました。

総勢49名が参加し、燃えるごみやビン・缶・ペットボトルなど総重量約2.8kgのごみを回収しました。



環境報告書展

主催：札幌市環境局

事業者と社会とを結ぶ環境コミュニケーションの重要なツールである環境報告書などを収集し、広く札幌市民などに公開する場として「環境報告書展」が開催されました。

札幌大同印刷は環境報告書の配布と社内掲示用クールビズポスターの展示をしました。



さっぽろキャンドルナイト2010

主催：さっぽろキャンドルナイト実行委員会

「1年中で一番昼が長い夏至の日、夜8時から10時までの2時間、みんなで一斉に電気を消して、スローな夜を過ごそう」「世界に誇れる環境文化都市札幌の実現を目指そう」というさっぽろキャンドルナイト実行委員会の呼びかけに賛同し、さっぽろキャンドルナイト2010に参加・協賛しました。

また、参加者の交流の場として開催されたキャンドルナイトミーティングへの参加やお客さま・取引先・従業員などにキャンドルナイトへの参加を呼びかけるとともにパンフレット・キャンドルを配布し、残業の抑制などに取り組みました。



アースデイ・カフェ

札幌大同印刷のホームページ内で環境情報を発信する「ecology report」にて、札幌大同印刷が環境保全活動を推進する中で出会った、自然環境・環境教育・地球温暖化防止などの地球環境問題に取り組む個人・団体・施設などの様々な視点から北海道で地球のことを考えて行動する人たちにインタビューし、活動の紹介をしています。



札幌市円山動物園応援グッズ

地球や動物たちの未来のことを楽しく考えるきっかけづくりとして、札幌市円山動物園にいる動物たちをモデルにした「どうぶつぬりえ」[ZOONOTE]を公認グッズとして制作販売しています。

札幌大同印刷は、販売した収益金の一部を動物たちの食べ物代として札幌市円山動物園に寄付しています。

■ 環境イベントに提供
下記イベントの趣旨に賛同し、参加者へのプレゼントとして提供しました。

● 第20回えべつ環境広場

環境保全活動をしている市民団体などの活動発表の場、環境問題を考える場などとして、毎年6月の環境月間に合わせて江別市で開催している、地域に根ざした環境イベント。

● アースデイEZO2010

地球環境問題など、多くの人たちに関心を持ってもらおうと、2007年から始まった環境啓発イベント。(P5参照)



どうぶつぬりえ



ZOONOTE

環境配慮型製品の実績(一例) 紙やインキ、グリーン電力などの環境配慮を行いました。

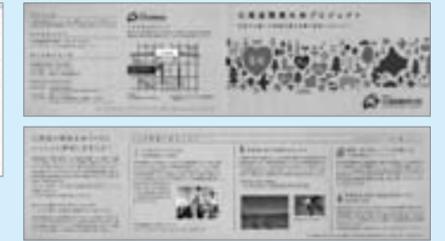
財団法人北海道環境財団様



事業案内パンフレット



北海道未来プロジェクトパンフレット



さっぽろキャンドルナイト実行委員会様

さっぽろキャンドルナイト2010 (ポスター・パンフレット・報告書・ホームページなど広報物一式)



キャンドル包装紙



ポスター



環境省北海道環境パートナーシップオフィス様

COP10(生物多様性条約10回締約国会議)「生物多様性交流フェア」出展事業紹介(大沼・釧路)パネル

